

認知症サポーター養成講座



みなさんは「認知症」をご存知ですか？ 耳にすることは多いけれど、詳しくは知らない人が多いのではないのでしょうか。

認知症は誰にでも起こりうる「脳の病気」です。日本国内の認知症の人数は、65歳以上の高齢者のうち2012年時点で462万人、認知症予備群とされる「軽度認知障害」(MCI)の人は約400万人と推計されており、合計すると800万人を超えと言われています。

あなたやあなたの家族が認知症になる可能性も決して低くありません。

大牟田市では、認知症になっても安心して暮らすことができるまちづくりの一環として、認知症サポーターの養成を進めています。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターの養成は、厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンの一環として、認知症について正しく理解し認知症になっても安心して暮らしていける地域にしていこうという啓発活動として始まりました。

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」です。

“お互い様”の気持ちがあれば誰にでもなれます。あなたも認知症サポーターになりませんか？

内容・時間: 認知症に関する基礎知識や、認知症の人やその家族への支援のあり方など、
おおむね90分程度

費用: 無料です

受講者全員に、認知症サポーターの証である認知症サポーターカードを配布します

その他: お申込みは開催予定日の1ヶ月前までをお願いします

認知症サポーターに期待されること

1. 認知症を正しく理解し、偏見をもたない
2. 認知症の人や家族に対して、温かい目で見守る
3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する
4. 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる
5. まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する